

## 新潟県十日町市

# 「人を呼ぶきものプロジェクト」

主催：新潟県十日町地域振興局  
協力：十日町市、十日町商工会議所  
十日町織物工業協同組合



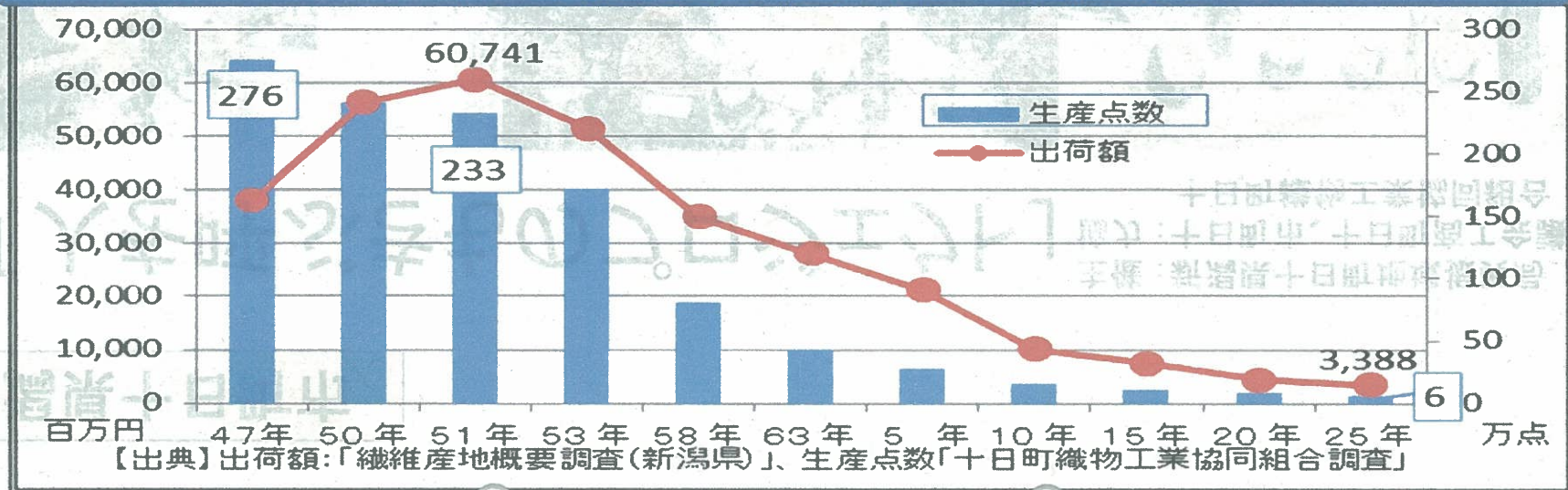
### 【プロジェクトのねらい】

- 地域の宝物である「きもの」を活かして人を呼び込むアイデアを考える。
- きものや、きものづくりのすばらしさを魅せて感動してもらい、携わる人の誇りを高める仕掛けを考える。
- アイデアを活かして十日町を訪れる人とファンを増やし、きもの産地「十日町」ブランドのイメージアップにつなげる。










# 十日町のきものの歴史と現状

- 信濃川流域は約8,000年前から世界有数の雪国になったとされ、火焰型土器が作られた縄文時代(約5,000年前)にルーツがあるアンギン(からむしが原料)は、雪国十日町の湿潤な気候の中で発達。江戸時代後期からは麻から絹織物に転換し、その後も新商品を開発し、革新を続けながら織物産業を維持してきている。
- 糸撚り、織り、染め、メンテナンスまでの技術を有する全国有数のきもの総合産地で、昭和51年には産地出荷額607億円を記録したものの、生活様式の変化や価値観の多様化などにより着物需要は減り、現在では最盛期の1/20まで低下。
- 優れた技術が集積しているものの、売上の減少等による後継者不足は深刻で、技術の伝承対策は喫緊の課題となっている。

## 十日町産地の出荷額等推移



# ▼平成28年度の取組

時 期	取 組 概 要
5月、8月、2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■関係者による勉強会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の検討・検証、意見交換等</li> </ul> </li> </ul> 
7月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市内工場の見学(2箇所)の取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者: 15名(市内行政、金融機関、団体)</li> <li>・見学先: (株)青柳織物、吉澤織物(株)</li> <li>・NHKニュース、地元紙、新聞等で報道</li> </ul> </li> </ul>  
8月 9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講演会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・燕三条工場の祭典実行委員長等による講演</li> <li>・アドバイザー及び講師とのディスカッション ・参加80名</li> </ul> </li> </ul> 
9月25日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「国際ご当地グルメグランプリ 今井美穂ステージ」で「きものPR」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・千原さん、FMとおかまち高野アナ 参加</li> </ul> </li> </ul> 
10月6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■燕三条工場の祭典見学               <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者: 15名(きもの関係者、行政、団体)</li> <li>・Teny夕方一番で特集放送</li> </ul> </li> </ul> 
11月19～20日(土、日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飯山線SL運行」十日町総合高校生のおもてなし               <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者: 延べ22名(19日9名、20日13名)</li> <li>・米山新知事来賓の中で、きものでおもてなし。</li> </ul> </li> </ul> 
2月5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■越後妻有歴史文化活用シンポジウム (青柳正規氏記念講演、斎藤孝太郎氏縄文コンサート)</li> <li>・きものすがたの受付でPR</li> </ul>  

# ▼平成29年度の取組

## I 勉強会の開催

平成28年度に引き続き、取組検討・点検を行う(年度内3回)

開催予定:第4回 平成29年6月14日、第2回平成29年9月、第3回平成30年2月

### 概要

第4回 平成29年全体計画の確認、当面する取組に関する検討  
(春、夏開催の各種ツアー展開等について)  
十日町工房巡り(仮称)の実施体制について検討

## II 発進力のある人材を活用したツアーの開催

### 目的

情報発信力のある人材を対象に、きもの工場等の見学をしてもらい、魅力(職人の技術、きもの美しさ)を感じてもらうとともに、見せ方の工夫などアイデアをもらう。

### 概要

対象:きもの関係ブロッガー、旅行エージェント等

内容:きもの工場見学、縄文文化、芸術祭作品等見学と情報発信

### Ⅲ 関係業者・一般向けモニターツアーの開催

#### ①目的

- ア 地域内の関係事業者(旅行、旅館)及び一般の方から、きものづくりの魅力を感じてもらい、商品化・ツアー組み込み等の見込みを点検・実施する。
- イ 工場側も経験値を増やし、案内方法・内容のノウハウを蓄積する。

#### ②内容 管内事業者向けツアー

時期	6月6日、6月13日催行済み
見学先	6日 (株)桐屋、蕪重織物(株) 13日 勇屋織物(株)、根啓織物(株)
定員	6日 8名、13日 13名
	松之山温泉組合、観光関係者
	(グリーンピア津南、共立観光、JR東日本企画新潟支社、雪国観光圏)

#### ②内容 一般向けツアー(首都圏向け)

時期	10月中頃
内容	きもの工場2・3カ所程度見学 +縄文又は芸術祭鑑賞
定員	20名程度を想定
募集方法	一般向けに募集告知
	7までに内容決定し、旅行会社で告知



## IV 大学との連携

### ①目的

きものの魅力や工場見学等「現地に来て感じて」もらい、学生目線で町や産業活性化、交流人口拡大を目的とした提案を行う。

#### 内 容

・工場見学、町あるき、観光資源等、現地で見えて感じた事をワークショップ等を通してアイデア(提案)をまとめ、十日町市内を会場に提案発表の場を設ける。

#### 連携大学

公立大学法人 長岡造形大学

#### 概 要

・工場と他の地域資源の現地見学(15名程度)2回程度(8月～9月)  
・アイデア出しワークショップ及提案のまとめ(10月～12月)  
・現地プレゼンテーション (2月～3月)

#### 広 報

・一連の連携内容をメディアを通じてPR。

## V 高校等との連携

### ①目的

・きもの関係のイベント等に地域の生徒が加わる場面が設けられるよう調整し、参加する生徒達から、きものへの理解と地域への愛着を深めてもらう。

### 連携内容

・主要イベントでの生徒の参加(十日町総合高校の生徒主体に想定)  
・産業フェスタ(10月14日(土)～15日(日))  
・地そばまつり(10月21日(土)～22日(日))

### ③振興局との関わり

・各イベント実行委員会等できものの活かし方を検討。  
・主催者対応を基本として、きものを活かして交流人口を増加させる取組に協力を依頼する。



# ▼平成30年度の取組

## きもの工場見学イベントを開催

【実施時期】 5月第3週の木曜日～土曜日(5月17日、18日、19日)

【実施概要】 工場(工房)・展示場所・関連事業所の見学ほか

【実施主体】 産地メーカー、各団体、振興局、十日町市などの協力で組織

【事務局】 第1回の祭典に向けて、関係機関が連携して推進する。



## 「きもの月間」スケジュール(H30年度)

日 時	事 業	会 場
4月 9日－14日	きものフェスタ	クロステン
5月 3日	きものまつり	本町通り他
11日－14日	十日町織物産地特別招待	クロステン
17日－19日	きもの工場見学(イベント)	市内織物工場
12日－26日	きものの町のキルト展	クロステン他
21日－23日	十日町きもの逸品会	京都市
6月 6日	黒姫神社祈願祭(六郎いん)	諏訪神社境内

## 十日町市の連携事業

### ■「きもの製造見学受入ファクトリー支援事業」

・製造現場の見学を受け入れる企業に対して、工場等の改修、歓迎モニュメントの設置、工程説明パンフ制作等に要する経費の1/2を補助(上限100万円)

対象者:きもの用の反物・帯等の製造業者、反物・帯等に使用する糸や生地の製造業者、きもの・帯等の修正加工、メンテナンス事業者

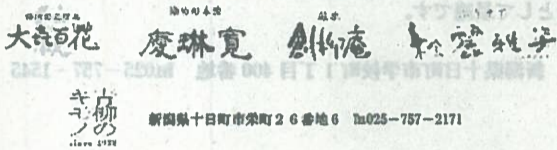


あおやなぎ  
株式会社 青柳



**会社紹介**  
「日本のきもの真髄をつくりたい」青柳はそんな創作理念のもとに昭和13年創業いたしました。伝統技術を守り活かす為に、全ての工程を一貫して自社工房で行っているのが特徴です。その高い技術を生かしたもので作り、全国屈指の染色工房として、受け継ぐ「技」に新しい「感性」を加え個性的なオリジナルテイ溢れる作品を創作しております。新たな創意工夫を持って青柳の伝統と革新をこれからも進めてまいります。

**商品紹介**  
最高級の国産素材に表現される、染・絞り・手描き・倍・刺繍の技。永い歴史の中で、多くの職人の手を経て継承された一流の伝統技術がここにあります。丹念に時間をかけ、熱い想いをつなごうと、すべて国内で創り上げた純国産の逸品ブランドです



いさみや  
勇屋織物株式会社



**会社紹介**  
昭和7年創業時、白生地や紋織り、縮紬等を製造。その後、主に読え品を中心にもの創りを行いました。現在も厳選された原糸を仕入れ、染色・染め・縫製等、一貫操業に依って工程・品質管理を徹底し責任をもって商品生産を行っています。独自の縮技術と意匠力で色・柄・素材にこだわりを持って「遊」「楽」「夢」をコンセプトにもの創りを行っています。

**商品紹介**  
平成10年に商標登録した「こだわりのしゃれ物語」はひとつひとつに調れのある、着ていて楽しい夢のあるモチーフを絵解で表現しています。「桜」「バラ」等の花シリーズ、「ねこ」「いぬ」「うさぎ」等の動物シリーズ、「むかし話」や「縁起の良い柄」等、遊び心をもって装って頂きたいという思いを込めて織り上げています。精通した職人達の技と心そのものが弊社商品の最大の特徴です。

新潟県十日町市四日町新田 215 TEL025-757-1529

かしだや  
柏田屋株式会社



**会社紹介**  
創業110年を迎える当社は自然の恵み豊かな雪国十日町において、伝統の友禅技法に基づいたオリジナル商品の制作に携わっています。現在、工程の簡略化やインクジェット技術の普及など伝統技術の敬称が危ぶまれる中、頑なに手糸目・手伏せ・引染めなど昔ながらの工程にこだわり、当社ならではの商品作りを行っています。

**商品紹介**  
野山に自生する草木の根・葉・花などから抽出した色素で染める草木染。その色彩は歳月とともに深みを増し、落ち着いた品格のある色調となるのが魅力です。越後十日町で育まれた自然の恵みである雪椿・柏・二千蓮などの素材と糸目手描友禅の伝統の技法がひとつとなって当社が制作する「妻有古代染」が生み出されます。

新潟県十日町市中条太子堂（営業所）TEL025-757-3816

かぶじゅう  
蕪重織物株式会社



**会社紹介**  
創業明治5年。会社設立 昭和27年。  
長い織物の歴史を礎に、新しい技術と感性を取り入れながら時代に即した人々の美意識に合う縮紬を創作しています。

**商品紹介**  
経済産業大臣指定伝統的工芸品「十日町縮」の技術をベースに草木下染・柿渋下染等の染色、ドビー機を用いた生地に立体感を与える織り、ムガ糸・ぜんまい糸・お召糸・駒糸を用いた素材それぞれを組み合わせた多彩な商品群を開発しています。

新潟県十日町市西寺町 262 番地 TEL025-757-2148

しまげん  
島善織物株式会社



**会社紹介**  
明治40年（1907年）明石縮の最盛期に創業し、明石縮やお召などを手掛けた後、昭和40年代半ば頃に染色技法を加賀友禅に学び、織物業から染物業へと転身を図りました。現在は、ハーブによる下染を施した染帯や染着尺などのおしゃれ商品からフォーマル商品まで幅広いアイテムを、消費者販売を主力に一点一点、その魅力と思いを伝えながら販売をさせて頂いています。

**商品紹介**  
手描友禅による繊細な描写とぼかし染による大胆で独創性豊かな表現が得意です。ハーブによる下染は平成11年頃に地色に対する拘りから取り組みました。化学染料だけでは得られない深い色合いを生み出すために試行錯誤中、古くから西洋に伝わるハーブに注目してこれに応用することから生まれました。展示会では男女合わせて5名の作家がフォーマル商品から染帯や染着尺などのカジュアル商品まで、また、縮紬から結城縮や白山縮、牛首縮など幅広い素材との組み合わせで、ユーザーに合わせたスタイリング提案をさせていただきます。工芸的な美しさ、品質の高さを重視しながら、装いの美しさをお伝えできる商品作りを心掛けています。

新潟県十日町市諏訪町 219 番地 TEL025-752-3508

しゅうび  
有限会社 秀美



**会社紹介**  
十日町の老舗メーカーでの修業を経て平成18年に独立創業。詩や歌を綴る様に、ひと筆ひと筆に想いをのせて、季節のうつろいを描き出したい。そんな想いから生まれたオリジナルきものブランド「詩季衣（しきごころ）」シリーズをメインに手仕事の逸品にこだわっています。

**商品紹介**  
「詩季衣（しきごころ）」のモチーフは自然だけにとどまらず、星座やメルヘンの世界、クリスマスといったユーモアのあるもので多彩です。京都、加賀、江戸などの3大友禅に対して、十日町ならではの自由な発想から生まれる図案や現代らしさを表現した、楽しく洒落感のあるきものが特徴です。

新潟県十日町市美雪町 3-3-5 TEL025-752-0771

しらしん  
白新染織株式会社



**会社紹介**  
「伝統工芸の煌（きら）めきー」を創作理念に、伝統が醸す素朴さ、ぬくもり、味わいを活かしながらも高度な技術と多様な技法を駆使して他とは一線を画すモノ作りを努めています。

**商品紹介**  
・独特のぬくもりのある味わいをそのままに繊細な豪華さを織り込んだ真綿縮。  
・まるで友禅で仕上げたかのような繊細な柄行き・奥深い配色と色使いの真綿縮訪問着  
・丁寧に紡いだ糸を巧みな技術で駆使して織り上げた亀甲餅は芸術的なたずまい。  
・いつまでも軽やかな着心地が楽しめる夏芭蕉、本しぼ。  
主な品名  
「本真綿縮」「本真綿縮378選」「本真綿縮訪問着」  
「本しぼ百五拾亀甲餅」「本しぼ伍拾参連縮」「本しぼ餅神洗染め」  
「夏芭蕉」

新潟県十日町市四日町 1674 番地 TEL025-757-3188

せきよし  
株式会社 関芳



**会社紹介**  
創業：大正3年9月 創立：昭和23年7月（法人組織替え）  
最近のきものフェスタ受賞歴  
平成24年 振袖 経済産業大臣賞  
平成25年 振袖 経済産業大臣賞  
平成26年 振袖 経済産業省関東経済産業局長賞  
平成27年 振袖 経済産業大臣賞  
平成28年 振袖 経済産業省関東経済産業局長賞  
※平成28年 リオデジャネイロオリンピック シンクロナイズドスイミング日本代表の水着に、着物に用いる伝統的な染色技法「手染染」が採用され好評を得た。

**商品紹介**  
当社の着物は振袖、訪問着、留袖といったフォーマル着物を中心に製作しており、「種由美」「IKKO」の2大ブランドをメインにしております。「種由美」コレクションは、ウェディングドレスを思わせるドラマチックなモダン柄とコレクション発表時から大切にしている格調高い古典柄の2タイプを製作しております。「IKKO」コレクションは、大正ロマン調をベースに現代感覚で捉えた古典柄を提案し続けております。当社の製品特徴の大きなポイントは、2ブランドとも友禅染をベースに、絞り加工、金彩加工、刺繍を加え、より豪華でより差別化された商品作りを心がけております。

新潟県十日町市山本町 5丁目 873-1 TEL025-752-3131

たきたい  
株式会社 滝泰



**会社紹介**  
昭和2年 滝沢泰次郎が断業創業。  
弊社は「絞り」の技術を駆使し、デザインから最終商品まで一貫生産で製作しており、より高品質で新しい商品開発が実現。近年では、今までにない絞り技術を研究し「おぼろ染め縋ね絞り」を発表。十日町フェスタでは最高賞（経済産業大臣賞）を6年連続受賞しました。

**商品紹介**  
振袖、訪問着、夏訪問着、付下げ、着尺、コート、帯、名古屋帯、色留、黒留、二尺袖、四ツ身、祝着、色内掛け、おぼろ染め縋ね絞りなどはじめ多品種少量生産しています。

新潟県十日町市四日町 1658 TEL025-757-2005

とうや  
株式会社 桐屋



会社紹介

「桐屋」(翠山工房)は当主・田村憲一で九代目を数え、江戸寛永年間創業とされます。明治時代に五代目久平が工房を開く際に、この地方十日町の山々の翠嶺く、水清くして美しい景観から、雅号を「翠山」とし、創作の場を「翠山工房」と命名いたしました。翠山工房は、たえず新商品開発に励み、夏織物から絹織物、紋意匠白生地等で数々のヒット商品を生んできました。そして織から染へ産地が大転換を行ったとき(1950年代)も一早く染めに挑戦し、特に「濃地の桐屋=翠山工房」として一世を風靡しました。

商品紹介

昭和50年代に「辻ヶ花」に出会い、40年近くにわたり「辻ヶ花染」を創作し続けています。現在は、振袖、訪問着、染帯などのアイテムを翠山工房ブランドとして製作展開しています。デザイン、友禅、染め、手描き、絞り等の全工程はすべて工房内で行い、辻ヶ花に魅せられた職人たちが自らの技にこだわって1点1点想いをこめて製作しております。

新潟県十日町市明石町3 TEL025-757-0525

にしかわ  
西川織物株式会社



会社紹介

明治時代より捻糸業を営み、昭和に入り西川織工場を創業し、昭和37年に西川織物株式会社を設立。代表・西川治郎は織物一筋に制作研究を重ね、伝統工芸士の認定を受け、その指導のもとで熟練された餅職人、織職人の創意工夫で現在に至っています。

商品紹介

「幹(いき)とは決さ」の創作理念のもとで作られる「幹決庵(すいじゅあん)」がメインブランドです。古代より受け継がれる手引き紡糸技法「手座繰り(てざぐり)」によって生まれるこだわりの糸を柿渋で染めます。柿渋染めの色は、幾度となく柿渋染と天日干しを繰り返して、はじめて得ることの出来る尊い色合いです。「幹決庵」のきものは、天と地と人の力を丹念に紡いだ、軸餅の原点ともいえます。

先染めで織った軸に手描き友禅など染の技法を施したモダンでおしゃれな軸訪問着や強徳の絹糸を使ったサラリとした地風の夏衣も手掛けています。

新潟県十日町市四日町1164-1 TEL025-757-1561

おけい  
根啓織物株式会社



会社紹介

良好な風合いにするため、糸・捻糸にこだわり伝統の技術と意匠を現代の感性でとらえて「明石縮」「十日町餅」を製作しています。

商品紹介

明石縮の誕生は明治20年頃にさかのぼります。播州明石から京都西陣に伝えられ雪国十日町で完成した明石縮は昭和4年十日町小唄によってその名を広めました。明石縮の技法の特徴は、綿糸に強い撚りを加え、湯もみして出す独特の「しぼ」と清涼感あふれる薄地風にあります。サラリとした地風に軽やかな着心地をもつ明石縮は風情豊かな夏のおしゃれ着として最適です。

新潟県十日町市学校町1丁目400番地 TEL025-757-1545

おしげ  
根茂織物株式会社



会社紹介

創業者、根津茂が昭和13年に捻糸業を始め、以来、織布、染色加工へと事業を拡大し、伝統を守りつつ常に時代が求める最高の着物を提供するために、品質と技術の研鑽に努めてまいりました。  
沿革 昭和25年 会社設立、白生地を主製品として生産  
昭和34年 黒輪羽織の商品開発し、製造に入る  
昭和41年 新潟区高田馬場に東京出張所を開設し、東京染に参入  
昭和47年 根津茂 黄綬褒章を受章する  
昭和56年 日本橋堀留に東京店開設

商品紹介

主な商品ブランド「江戸の幹」  
染織の技法は大別すると、京友禅や加賀友禅など筆を用いて描く手描き友禅と、型紙を用いて染める型染、二つの技法があります。型染の最も代表的な着物が江戸小紋です。武士の袴から発生した江戸小紋は、格調の高さを活かし近代的なセンスと、単色系で色を染め上げることで、「幹」さを出していることが特徴です。又、江戸小紋は型紙を作る人、彫る人、染める人それぞれの職人の技の結晶です。

新潟県十日町市本町6-2 TEL025-757-3131

おぜん  
根善織物株式会社



会社紹介

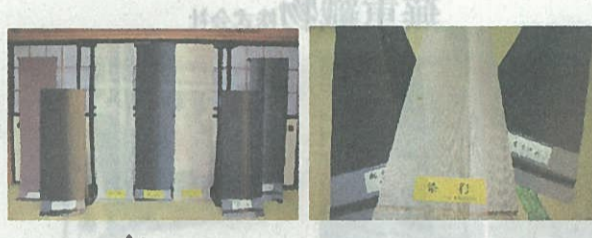
現当主で四代目。糸採り、捻糸、織り染めをすべて手作業によるきものを製作しています。素材、染色、織りも相当広範囲の製品製作が可能です。オリジナル作りこだわりの得意先からは便利にご利用いただけます。

商品紹介

紙はた織、手製老母玉、ゆいはた等、ずーっと作り続ける息の長い製品も用意しています。産地産元のブランドより好きか嫌いか、着てみたいか、あまり見た事が無いかに視点を置いての製品作りをスタンスとしています。

新潟県十日町市学校町1丁目420番地 TEL025-752-2903

おひろ  
根広織物株式会社



会社紹介

明治期創業の軸餅の織元。現当主で五代目。シボ糸使いのちりめん地風の商品と高度な織の技術を用いる平織を主に生産しています。

商品紹介

染色: タテ糸に多色のボカシ染を施し、配色の変化による趣のあるグラデーションを表現しています。

平織: タテ糸・ヨコ糸ともに絹糸を使用し、光沢のある平地風の織物で高度な製織技術を要します。

男物: タテ糸の密度を増やし、ヨコ糸に絹糸と強徳お召糸を交互に織り込んだちりめん地風の商品です。

新潟県十日町市若宮町375番地 TEL025-757-2101

ひしゅう  
美翔株式会社



会社紹介

こだわりの紋織物をベースとした羽織・コート、着尺を作り続けています。先染めの織りで地紋を織り、更にそこに染めを施すことで、見る角度や光のあたり具合により色彩が変わるのが特徴です。

商品紹介

当社の織文様の主なモチーフは「正倉院文様」と「名物古代裂」。長い歴史の中で日本人の憧れだったエキゾチックな文様です。

「正倉院文様」

正倉院に伝わる工芸染織品にみられる文様。唐や西域のいわゆるシルクロード文化を伝える文様です。豪華で雄大な大陸風のデザインは当時の人々を魅了したものとされます。

「名物古代裂」

中国の明や南方インド、東南アジアから舶載された裂の中から大名、茶人、文人などによって賞玩されたもので、金襴・銀襴・絹子・問道・モールなどと言われるものです。

新潟県十日町市本町6の1 TEL025-757-6500

みずくに  
水国織物株式会社



会社紹介

当社は創業明治10年。平成29年で140周年を迎えます。これまで他社にはない独自の技法、デザインを開発し、小さなヒットを積み重ねつつ個性的なきものづくりに励んでまいりました。  
＜創作理念＞ 物作りができることへの感謝  
自社(自分)のスタイル(特徴)を持つ  
自社(自分)のスタイル(特徴)を活かす

商品紹介

越後染印傳(えちご そめいんでん)  
きものや帯に漆(うるし)を型染めする独自の技法を創案。シンプルでスタイリッシュな今までのない着こなしが楽しめます。

＜商品アイテム＞

着尺、袋帯、丸寸名古屋帯、コート・羽織、おしゃれ訪問着

新潟県十日町市駅通り21-1 TEL025-757-2250

よしざわ  
吉澤織物株式会社



会社紹介

創始160年、創業120年の老舗メーカーです。織物を基盤としながら昭和30年代後半の「黒羽織」創始を契機に友禅を導入し、今や友禅と織物の両方を創作できる全国屈指の染めと織りの総合メーカーとして確立しています。「不易流行」の創作理念のもと、常に時代の要請に応えながら、創業以来受け継がれた精神や歴史・伝統を重んじ、あくまでも「本物」への強いこだわりをもつものづくりをしております。

商品紹介

一貫して「ブランド戦略」を基軸に展開しております。ブランドはそれぞれの商品の背景にある企業の理念や哲学を形にしたもの。いわば「企業の志」であり「品質と信用の証」と考えます。『吉澤の友禅』と標榜しているように、正統的な古典をベースとした本格派友禅を追求し、その強みを発揮しながら『吾妻徳徳』『吉田義助』をはじめ『矢萩春恵』『田中優子』『ふりそで美術館』、さらに匠の技を駆使したこだわりの工芸つむぎ『吉澤与市』など業界を代表するブランドを発表しております。

新潟県十日町市本町1丁目目下686番地 TEL025-752-4131

十日町産地の大きな特徴は、染と織の技術の両輪に培われた各社の個性あふれる多様な商品構成です。  
十日町は日本が誇る伝統の技、匠の粋が咲き揃う「きもの」の里です。

＝十日町織物工業協同組合＝

## 施設案内



ミュージアムエリア



(株)宮坂製糸所 工場見学



カイコふれあいルーム



まゆちゃん工房

まゆ人形やコサージュなどの繭クラフトと、  
卓上の繭繰り機で手織り体験ができます。

**イベント** ※申込み不要・参加費無料(要入館料)

### 館内ガイドツアー(定時解説)

博物館職員が館内を解説、ご案内いたします。  
毎週土日祝日 10:00～, 14:00～  
※混雑状況により中止の場合あり  
※個人でのご案内をご希望の方は受付でお申下さい。

### フランス式繰糸機復元機の実演

毎月第2土曜日 10:30～, 14:30～  
館内ガイドツアーとあわせてご覧いただけます。

●開館時間 | 9:00～17:00

(製糸工場・まゆちゃん工房は  
9:00～12:00、13:00～16:00)

●休館日 | 水曜日(祝日の場合は開館)、  
祝日の翌日、12月29日～1月3日、  
その他臨時休館あり

●バリアフリー情報 | 貸出用車イス有。多目的トイレ有。

●ミュージアムショップ、ファクトリーショップがあります。

〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8

Tel.0266-23-3489

<http://silkfact.jp/>

## アクセス

電車の場合  
JR中央線岡谷駅下車、徒歩20分  
(新宿～岡谷 特急で約2時間半)

車の場合  
長野自動車道岡谷ICから車で5分  
(駐車場 33台 大型車3台)



●入館料

区分	個人	団体(10名以上)
一般	500円	400円
中高生	300円	200円
小学生	150円	100円

\*岡谷市内・諏訪郡内在住・在学の小中学生、岡谷市内在住・  
在学の高校生は入館無料。



歴史に学び、  
未来を思考創造する一  
製糸工場を併設する  
日本で唯一の博物館です。

# 岡谷蚕糸博物館 SILK FACT

展覧会スケジュール  
2017年4月～2018年3月



# 展覧会スケジュール 2017年4月-2018年3月

>>> 2017年5月22日[月]

## 岡谷の工女さん

製糸業を支えた女性たちの仕事とくらし

明治～昭和にかけて、製糸工場で働いた工女さんの仕事と、日々の暮らしをご紹介します。



2017年5月25日[木]-7月23日[日]

## 19世紀ヨーロッパのドレス

～モードとシルク～

当時流行していた特徴的なシルエットのドレスと、その流行を発信した美しいファッション・ブックをご紹介します。



2017年7月27日[木]-10月22日[日]

## 歌舞伎衣裳展

岡谷市観光大使の歌舞伎俳優・市川笑野氏監修による歌舞伎衣裳展を開催！伝統芸能を支える絹にご注目下さい。



2017年10月26日[木]-2018年1月21日[日]

## 糸を組む

～あなたの知らない組紐の世界～

和服の帯締めなどに使われる組紐は、時代とともに用途、デザインが変化してきました。奥深い組紐の世界をご紹介します。



2018年1月25日[木]-5月中旬

## 鍋、語る。線糸鍋の種類と変遷

製糸用具の「線糸鍋」には、素材・かたち・大きさに様々な特徴があります。製糸業を支えた線糸鍋の改良の歴史をご覧ください。



4月 2017年

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月 2018年

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※展覧会情報、休館日はやむを得ず変更になる場合があります。※最新情報はHPでご確認いただくか、直接お問い合わせ下さい。

日付 休館日 日付 フランス式線糸機復元機の実演 毎月第2土曜日 10:30～、14:30～



OKAYA SILK MUSEUM

明治時代初期、岡谷の人々はイタリア・フランスから導入された洋式製糸機械に創意工夫を重ねた諏訪式繰糸機を開発しました。その技術は全国に普及し、この地で生産された生糸の多くは輸出され、「シルク岡谷」としてその名を世界に轟かせるなど一大製糸業地に発展。日本の近代化に大きく貢献しました。

こうした功績を後世に伝え、今後の産業発展に役立てるため、諏訪製糸研究会と全国製糸業関係者の協力を得て、昭和39年10月、市立岡谷蚕糸博物館が開館。製糸機械類、文書類、製糸経営史料等約3万点を収蔵・展示、一部が昭和41年に長野県有形民俗文化財に、平成19年には所蔵資料が経済産業省より近代化産業遺産に認定されました。さらに平成23年には日本機械学会より8点の繰糸機が機械遺産に認められ、その中にはフランス式繰糸機、諏訪式繰糸機など当館だけに見られる貴重なものが数多くあります。

開館から半世紀を経た平成26年8月1日、施設のさらなる充実をはかり現在の地に移転。新たに(株)宮坂製糸所を併設しました。博物館の愛称は、工場の(factory)と、シルクの真実(fact)から「シルクファクトおかや」とし、シルクを五感で感じていただける世界的にも類まれな博物館として生まれ変わりました。

先人の不朽の業績に学び、ものづくり精神と新たなシルク文化を発信していきます。



### Information

**■ 開館時間** 午前9:00～午後5:00  
宮坂製糸所、まゆちゃん工房は 9:00～12:00、13:00～16:00

**■ 休館日** 毎週水曜日(その日が祝日の場合は開館)  
祝日の翌日、12/29～1/3、その他臨時休館日あり

**■ 入館料**

区分	個人	団体(10名以上)
一般	500円	400円
中高生	300円	200円
小学生	150円	100円

※岡谷市内・諏訪郡内在住在学の小中学生、岡谷市内在住在学の高校生無料。  
※団体とは、総人員が10名以上をさします。



**交通のご案内**

- 電車の場合 JR中央線岡谷駅下車 徒歩20分
- お車の場合 長野自動車道 岡谷ICから車で5分

**岡谷蚕糸博物館** OKAYA SILK MUSEUM

**シルクファクトおかや**

〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8  
 Tel.0266-23-3489 Fax.0266-22-3675  
 メールアドレス ☒ hakubutsukan@city.okaya.lg.jp  
 ホームページ <http://www.silkfact.jp/> [シルクファクトおかや](#) [検索](#)



**岡谷蚕糸博物館**  
OKAYA SILK MUSEUM

シルクファクトおかや

4条繰り諏訪式繰糸機

## 糸都岡谷ものがたり



### ■ シルク岡谷への出発 シルクとの出会い・糸都岡谷への道



絹文化の起源からカイコとシルクの秘密、蚕糸絹業のトータルプロセスなど、シルクの魅力に様々な切り口からアプローチ。日本の製糸業のあゆみとして横浜開港から富岡製糸場の創業、糸都岡谷の発展に至るまで、全国から岡谷に集まった工女さんの仕事や生活についてご紹介します。

### ■ 全国で唯一の製糸機械類の展示 機械でたどる糸都岡谷ものがたり



明治5年創業当時の官営富岡製糸場で使われ、唯一現存しているフランス式繰糸機や、武居代次郎が開発した諏訪式繰糸機など、日本を世界一の生糸生産国にした製糸機械類を江戸時代から昭和期まで時代ごとに展示します。

### ■ 先人の偉業を多彩に展示 資料でたどる糸都岡谷ものがたり



厳しい蚕糸業の中で、たゆまぬ努力と創意工夫を重ね、先人の明をもって歩んできた先人達。その経営資料などから、糸のまち岡谷の歴史をたどります。岡谷の古い写真や地図などもあわせてご覧ください。

## ワークショップスペース まゆちゃん工房

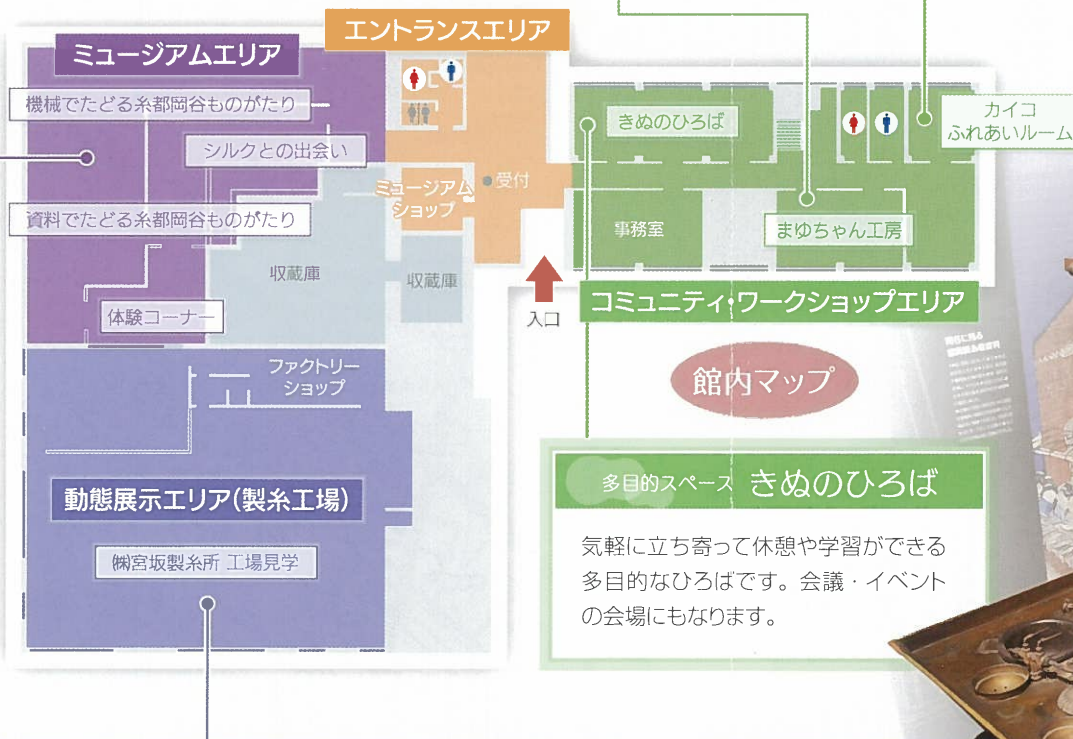


まゆ人形やコサージュなどの繭クラフトと、小型機織機はたおりきでの手織りができる体験工房です。まゆの質感や特性をいかながら作品作りにチャレンジ。季節の体験コースもあります。

## 養蚕スペース カイコふれあいルーム



シルクとなる繭糸を吐くおカイコさまの育つ様子や繭づくりの観察ができる、おカイコさまの秘密がいっぱいの部屋です。昔ながらの養蚕道具を使い、桑の葉のえさやりを楽しむこともできます。



## (株)宮坂製糸所 工場見学



製糸全盛期から変わらない諏訪式繰糸機、日本古来の上州式繰糸機、昭和30年代まで使われていた多条繰糸機、その後の自動繰糸機などが稼働しているところを見学できます。

(株)宮坂製糸所：TEL.0266-22-3116



フランス式繰糸機